

キッコーマン株式会社

会社概要

本社	千葉県野田市野田250
工場	野田工場(千葉県)、高砂工場(兵庫県)
設立	1917年
資本金	115億9千9百万円
主要製造品目	キッコーマンしょうゆ、しょうゆ関連調味料ほか
ウェブサイト	http://www.kikkoman.co.jp/

2006年度の評価と分析

●環境保全投資

2006年度の環境保全投資額は312百万円で、2005年度に比べ124百万円減少しました。

この主な理由は、2005年度に行った排水処理設備、メタン発酵設備への投資が完了したためです。なお2006年度は、新たにしょうゆ粕乾燥設備に投資しました。

●環境保全費用

2006年度の環境保全費用は1,689百万円で、2005年度に比べ456百万円減少しました。

この主な理由は、返品に関わる資源循環費用、排水処理などの公害防止の費用が減少したためです。

●環境保全効果

2006年度の環境保全効果額は1,056百万円で、2005年度に比べ364百万円向上しました。

この主な理由は、しょうゆ粕のエネルギー利用をやめたことによりエネルギー(化石燃料)抑制効果が114百万円減少したものの、焼酎事業の営業譲渡によるエネルギー低減効果があったほか、しょうゆ粕の飼料としての販売が増加したことにより廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果が向上したためです。

環境会計

この環境会計には、分社化した北海道キッコーマン(株)、流山キッコーマン(株)、平成食品工業(株)、江戸川食品(株)の実績数値を含んでいます。

環境保全投資・費用

(百万円 単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	308	1,159
公害防止	125	343
地球環境保全	7	89
資源循環	176	727
上流または下流コスト	0	115
流通		115
管理活動コスト	0	218
環境保全		218
研究開発コスト	4	179
研究・開発	4	179
社会活動コスト	0	18
自然保護、団体、地域支援		18
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	312	1,689

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2006年度		2005年度		増減CO ₂ (t/y)	前年比(%)
		使用量	CO ₂ 換算(t/y)	使用量	CO ₂ 換算(t/y)		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	9,639 kℓ	26,122	10,533 kℓ	28,544	-2,422	91.5
灯油	2.492 CO ₂ t/kℓ	6 kℓ	15	7 kℓ	17	-2	88.0
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	46,006 千kwh	17,390	51,757 千kwh	19,564	-2,174	88.9
LPG	3.002 CO ₂ t/t	0 t	0	1,817 t	5,455	-5,455	0.0
ガス	2.108 CO ₂ t/千m ³	4,426 千m ³	9,330	3,737 千m ³	7,878	1,452	118.4
合計			52,857		61,458	-8,601	86.0

●エネルギー(化石燃料)抑制効果(熱利用)

	排出係数※1(CO ₂ t/t)	2006年度	
		使用量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)
しょうゆ粕(燃料)	1.180	921	1,087
しょうゆ油(燃料)	2.700	1,390	3,753
合計			4,840

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算、有効利用分除く)

内訳	排出係数(CO ₂ t/t)	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)		
廃プラスチック	2.600	236	614	168	437	177	140.4
段ボール、木屑	1.650	197	325	174	287	38	113.3
廃油	2.900	497	1,441	130	377	1,064	382.3
汚泥	1.100	3,631	3,994	3,583	3,941	53	101.3
植物性残さ	2.442	926	2,261	741	1,810	451	124.9
一般雑芥ほか	2.442	621	1,516	786	1,919	-403	79.0
不燃物	0.000	183	—	251	—	—	72.9
合計		6,291	10,152	5,833	8,771	1,381	115.7

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数※1(CO ₂ t/t)	2006年度				
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	再生利用(t/y)	再生利用率(%)	再生利用CO ₂ 換算(t/y)
廃プラスチック	2.600	236	614	236	100.0	614
段ボール、木屑	1.650	197	325	195	99.0	322
廃油	2.900	497	1,441	497	100.0	1,441
しょうゆ粕(飼料)	1.180	22,026	25,991	22,026	100.0	25,991
しょうゆ油(魚餌その他)	2.700	984	2,657	984	100.0	2,657
みりん粕(飼料)	1.080	530	572	530	100.0	572
汚泥	1.100	3,631	3,994	3,631	100.0	3,994
植物性残さ	2.442	926	2,261	926	100.0	2,261
一般雑芥ほか	2.442	621	1,516	620	99.8	1,514
不燃物	0.000	183	—	150	82.0	—
合計		29,831	39,372	29,795	99.9	39,366

熱利用分を加えると

しょうゆ粕(燃料)		921		921	100.0	
しょうゆ油(燃料)		1,390		1,390	100.0	
総計		32,142		32,106	99.9	

その他の環境負荷量

●用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量(製造部門)

	2006年度	2005年度	増減	前年比(%)
用水	3,307 千kℓ	3,554 千kℓ	-247 千kℓ	93.1
窒素酸化物(NO _x)※2	32,877 kg	38,668 kg	-5,791 kg	85.0
硫黄酸化物(SO _x)	11,519 kg	12,587 kg	-1,068 kg	91.5

※1 しょうゆ粕、しょうゆ油、みりん粕の排出係数はキッコーマン・グループの測定値

※2 しょうゆ粕、しょうゆ油燃焼除く

日本デルモンテ株式会社

会社概要

本社	東京都中央区日本橋小網町4-13
工場	長野工場(長野県)、群馬工場(群馬県)、福島工場(福島県)、岩手工場(岩手県)、木島平分工場(長野県)
設立	1961年
資本金	9億円
主要製造品目	デルモンテ製品、キッコーマンソース、キッコートマト製品ほか
ウェブサイト	http://www.delmonte.co.jp/

2006年度の評価と分析

●環境保全投資

2006年度の環境保全投資額は46百万円で、2005年度に比べ29百万円増加しました。

この主な理由は、排水処理設備や新たな省エネルギー設備に投資したためです。

●環境保全費用

2006年度の環境保全費用は287百万円で、2005年度に比べ47百万円減少しました。

この主な理由は、公害防止や資源循環に関わる管理活動の効率化によって、それに要する費用が減少したためです。

●環境保全効果

2006年度の環境保全効果額は158百万円で、2005年度に比べ16百万円向上しました。

廃棄物・副産物低減効果は減少しましたが、それを上回って廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果が増加しました。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円 単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	46	266
公害防止	25	186
地球環境保全	20	4
資源循環	1	76
上流または下流コスト	0	0
流通		
管理活動コスト	0	21
環境保全		21
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	0
自然保護、団体、地域支援		
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	46	287

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		使用量	CO ₂ 換算(t/y)	使用量	CO ₂ 換算(t/y)		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	10,595 kℓ	28,712	10,646 kℓ	28,851	-139	99.5
軽油	2.624 CO ₂ t/kℓ	19 kℓ	50	16 kℓ	42	8	118.7
灯油	2.492 CO ₂ t/kℓ	54 kℓ	135	48 kℓ	120	15	112.1
電力	0.378 CO ₂ t/kwh	19,472 kwh	7,360	19,452 kwh	7,353	7	100.1
LPG	3.002 CO ₂ t/t	1 t	3	1 t	3	0	100.1
ガソリン	2.322 CO ₂ t/kℓ	58 kℓ	135	45 kℓ	104	31	129.5
合計			36,395		36,473	-78	99.8

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数※ (CO ₂ t/t)	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)		
廃プラスチック	2.600	298	775	276	718	57	107.9
段ボール、木屑	1.650	521	860	614	1,013	-153	84.9
廃油	2.900	4	12	42	122	-110	9.5
りんご搾汁粕	1.470	735	1,080	490	720	360	150.1
トマト搾汁粕	2.149	203	436	210	451	-15	96.7
緑茶粕	1.789	659	1,179	639	1,143	36	103.1
汚泥	1.100	1,422	1,564	1,374	1,511	53	103.5
植物性残さ	2.442	808	1,973	777	1,897	76	104.0
一般雑芥ほか	2.442	17	42	18	44	-2	94.4
不燃物	0.000	1,308	—	1,133	—	—	115.4
合計		5,975	7,921	5,573	7,620	302	103.9

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数※ (CO ₂ t/t)	2006年度				
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	再生利用(t/y)	再生利用率(%)	再生利用CO ₂ 換算(t/y)
廃プラスチック	2.600	298	775	296	99.3	770
段ボール、木屑	1.650	521	860	508	97.5	838
廃油	2.900	4	12	4	100.0	12
りんご搾汁粕(飼料)	1.470	735	1,080	735	100.0	1,080
トマト搾汁粕(飼料)	2.149	203	436	203	100.0	436
緑茶粕(堆肥)	1.789	659	1,179	659	100.0	1,179
汚泥	1.100	1,422	1,564	1,422	100.0	1,564
植物性残さ	2.442	808	1,973	808	100.0	1,973
一般雑芥ほか	2.442	17	42	6	35.3	15
不燃物	0.000	1,308	—	1,306	99.8	—
合計		5,975	7,921	5,947	99.5	7,867

その他の環境負荷量

●用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量

	2006年度	2005年度	増減	前年比(%)
用水	2,923 千ℓ	2,997 千ℓ	-74 千ℓ	97.5
窒素酸化物(NO _x)	21,831 kg	21,783 kg	48 kg	100.2
硫黄酸化物(SO _x)	12,674 kg	12,734 kg	-60 kg	99.5

※ りんご搾汁粕、トマト搾汁粕、緑茶粕の排出係数はキッコーマン・グループの測定値

マンズワイン株式会社

会社概要

本社	東京都港区西新橋2-1-1
工場	勝沼ワイナリー(山梨県)、小諸ワイナリー(長野県)
設立	1962年
資本金	9億円
主要製造品目	マンズワイン、ブランデー、スパークリングワインほか
ウェブサイト	http://www.kikkoman.co.jp/manns/

2006年度の評価と分析

●環境保全投資

2006年度の環境保全投資額は6百万円で、2005年度に比べ19百万円減少しました。

この主な理由は、勝沼ワイナリーでの排水処理設備への投資が完了したためです。

●環境保全費用

2006年度の環境保全費用は41百万円で、2005年度に比べ5百万円減少しました。

この主な理由は、廃棄物量の減少にともなって廃棄物処理のための資源循環費用が減少したためです。

●環境保全効果

2006年度の環境保全効果額は32百万円で、2005年度に比べ5百万円向上しました。

この主な理由は、エネルギー低減効果、廃棄物・副産物低減効果がそれぞれ2005年度に比べて向上したためです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円 単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	6	31
公害防止	6	16
地球環境保全		
資源循環		15
上流または下流コスト	0	0
流通		
管理活動コスト	0	10
環境保全		10
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	0
自然保護、団体、地域支援		
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	6	41

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		使用量	CO ₂ 換算(t/y)	使用量	CO ₂ 換算(t/y)		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	245 kℓ	664	268 kℓ	726	-62	91.5
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	3,007 千kwh	1,137	3,040 千kwh	1,149	-12	98.9
合計			1,801		1,875	-74	96.0

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数(CO ₂ t/t)	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%) 70.6
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)		
廃プラスチック	2.600	19	49	27	70	-21	71.7
段ボール、木屑	1.650	40	66	56	92	-26	84.4
汚泥	1.100	284	312	336	370	-58	87.8
植物性残さ	2.442	338	825	385	940	-115	104.7
一般雑芥ほか	2.442	3	7	3	7	0	87.9
不燃物	0.000	152	—	173	—	—	85.2
合計		836	1,261	980	1,480	-218	

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数(CO ₂ t/t)	2006年度				
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	再生利用(t/y)	再生利用率(%)	再生利用CO ₂ 換算(t/y)
廃プラスチック	2.600	19	49	2	10.5	5
段ボール、木屑	1.650	40	66	40	100.0	66
汚泥	1.100	284	312	284	100.0	312
植物性残さ	2.442	338	825	338	100.0	825
一般雑芥ほか	2.442	3	7	0	0.0	0
不燃物	0.000	152	—	151	99.3	—
合計		836	1,261	815	97.5	1,209

その他の環境負荷量

●用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量

	2006年度	2005年度	増減	前年比(%)
用水	320 千kℓ	334 千kℓ	-14 千kℓ	95.8
窒素酸化物(NO _x)	1,238 kg	1,282 kg	-44 kg	96.6
硫黄酸化物(SO _x)	293 kg	320 kg	-27 kg	91.6

利根コカ・コーラボトリング株式会社

会社概要

本社 千葉県野田市中根310
設立 1962年
資本金 16億円
主要製造品目 コカ・コーラ、アクエリアス、ジョージアコーヒー、爽健美茶ほか
ウェブサイト <http://www.tone.ccbc.co.jp/>

2006年度の評価と分析

●環境保全投資

2006年度の環境保全投資額は757百万円で、2005年度に比べ58百万円増加しました。

主な投資内容は、2005年度に引き続き省エネルギー・ノンフロン冷媒の環境配慮型自動販売機の設置などに関する投資でした。

●環境保全費用

2006年度の環境保全費用は1,132百万円で、2005年度に比べ80百万円増加しました。

費用の主な内容は、市場での空容器などの回収・分別費用と、環境配慮型自動販売機の減価償却費用でした。

●環境保全効果

2006年度の環境保全効果額は122百万円で、2005年度に比べ30百万円向上しました。

この主な理由は、廃棄物の再生利用の促進による廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果および物流部門での使用燃料の抑制によるエネルギー低減効果が、それぞれ増加したためです。

環境会計

利根物流サービス(株)の実績数値も含めています。

環境保全投資・費用

(百万円 単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	754	635
公害防止	100	40
地球環境保全	654	516
資源循環		79
上流または下流コスト	0	440
流通		440
管理活動コスト	3	44
環境保全	3	44
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	13
自然保護、団体、地域支援		13
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	757	1,132

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		使用量	CO ₂ 換算(t/y)	使用量	CO ₂ 換算(t/y)		
軽油	2.624 CO ₂ t/kℓ	2,061 kℓ	5,408	2,143 kℓ	5,622	-214	96.2
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	7,771 千kwh	2,937	7,827 千kwh	2,959	-22	99.3
ガソリン	2.322 CO ₂ t/kℓ	999 kℓ	2,320	1,010 kℓ	2,346	-26	98.9
合計			10,665		10,927	-262	97.6

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数(CO ₂ t/t)	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)		
廃プラスチック	2.600	620	1,612	600	1,560	52	103.3
段ボール、木屑	1.650	3,543	5,846	3,159	5,212	634	112.2
植物性残さ	2.442	328	801	231	564	237	142.0
一般雑芥ほか	2.442	1,356	3,311	1,314	3,209	103	103.2
不燃物	0.000	13,578	—	11,609	—	—	117.0
合計		19,425	11,570	16,913	10,545	1,025	109.7

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数(CO ₂ t/t)	2006年度				
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	再生利用(t/y)	再生利用率(%)	再生利用CO ₂ 換算(t/y)
廃プラスチック	2.600	620	1,612	25	4.0	65
段ボール、木屑	1.650	3,543	5,846	3,543	100.0	5,846
植物性残さ	2.442	328	801	328	100.0	801
一般雑芥ほか	2.442	1,356	3,311	0	0.0	0
不燃物	0.000	13,578	—	9,718	71.6	—
合計		19,425	11,570	13,614	70.1	6,712

その他の環境負荷量

●用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量

	2006年度	2005年度	増減	前年比(%)
用水	29 千kℓ	30 千kℓ	-1 千kℓ	96.7
窒素酸化物(NO _x)	13,696 kg	13,932 kg	-236 kg	98.3
硫黄酸化物(SO _x)	1,032 kg	1,073 kg	-41 kg	96.2

会社概要

本社	茨城県猿島郡五霞町川妻1122
工場	同上
設立	1973年
資本金	5千万円
主要製造品目	爽健美茶500mlPET、その他の缶飲料、シャーベット、レギュラーコーヒーほか
ウェブサイト	http://www.eatsia.co.jp/

2006年度の評価と分析

●環境保全投資

2006年度も、2005年度と同様に環境保全に関する投資はありませんでした。

●環境保全費用

2006年度の環境保全費用は68百万円で、2005年度に比べ3百万円減少しました。

費用の主な内容は、排水処理設備での公害防止費用および廃棄物処理における資源循環費用でした。

●環境保全効果

2006年度の環境保全効果額は197百万円で、2005年度に比べ59百万円増加しました。

この主な理由は、廃棄物・副産物低減効果と、重油・電力などのエネルギー低減効果が寄与したためです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円 単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	0	62
公害防止		31
地球環境保全		
資源循環		31
上流または下流コスト	0	-3
流通		-3
管理活動コスト	0	9
環境保全		9
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	0
自然保護、団体、地域支援		
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	0	68

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		使用量	CO ₂ 換算(t/y)	使用量	CO ₂ 換算(t/y)		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	3,248 kℓ	8,802	3,321 kℓ	9,000	-198	97.8
軽油	2.624 CO ₂ t/kℓ	51 kℓ	134	58 kℓ	152	-18	88.0
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	14,071 千kwh	5,319	14,780 千kwh	5,587	-268	95.2
LPG	3.002 CO ₂ t/t	38 t	114	41 t	123	-9	92.7
ガソリン	2.322 CO ₂ t/kℓ	161 kℓ	374	155 kℓ	360	14	103.8
合計			14,743		15,222	-479	96.9

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数(CO ₂ t/t)	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)		
廃プラスチック	2.600	130	338	177	460	-122	73.4
段ボール、木屑	1.650	107	177	117	193	-17	91.5
汚泥	1.100	224	246	244	268	-22	91.8
植物性残さ	2.442	2,739	6,689	3,377	8,247	-1,558	81.1
一般雑芥ほか	2.442	27	66	29	71	-5	93.1
不燃物	0.000	45	—	39	—	—	115.4
合計		3,272	7,516	3,983	9,239	-1,724	81.3

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数(CO ₂ t/t)	2006年度				
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	再生利用(t/y)	再生利用率(%)	再生利用CO ₂ 換算(t/y)
廃プラスチック	2.600	130	338	104	80.0	270
段ボール、木屑	1.650	107	177	107	100.0	177
汚泥	1.100	224	246	224	100.0	246
植物性残さ	2.442	2,739	6,689	2,739	100.0	6,689
一般雑芥ほか	2.442	27	66	0	0.0	0
不燃物	0.000	45	—	45	—	—
合計		3,272	7,516	3,219	98.4	7,382

その他の環境負荷量

●用水使用量、窒素酸化物・硫酸酸化物排出量

	2006年度	2005年度	増減	前年比(%)
用水	647 千ℓ	737 千ℓ	-90 千ℓ	87.8
窒素酸化物(NO _x)	10,359 kg	10,641 kg	-282 kg	97.3
硫酸酸化物(SO _x)	3,907 kg	3,998 kg	-91 kg	97.7

株式会社紀文フードケミファ

会社概要

本社	東京都中央区入船2-1-1
工場	鴨川工場(千葉県)、岐阜工場(岐阜県)、埼玉工場(埼玉県)、新埼玉工場(埼玉県)
設立	1939年
資本金	35億8千5百万円
主要製造品目	ヒアルロン酸、ロイド、アルギン、豆乳飲料、調味料
ウェブサイト	http://www.kibunfc.co.jp/

2006年度の評価と分析

●環境保全投資

2006年度の環境保全投資額は、834百万円でした。

投資の主な内容は、おからや海藻の再利用に関連する資源循環投資および公害防止設備や排水処理施設への投資でした。

●環境保全費用

2006年度の環境保全費用は、529百万円でした。

費用の主な内容は、公害防止関連設備の減価償却費用や、廃棄物処理にともなう資源循環費用でした。

●環境保全効果

2006年度の環境保全効果額は、1,009百万円でした。

効果の主な内容は、副産物の再生利用による廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果および廃棄物の発生抑制による廃棄物・副産物低減効果でした。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円 単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	752	403
公害防止	249	235
地球環境保全	31	1
資源循環	472	167
上流または下流コスト	0	1
流通		1
管理活動コスト	82	40
環境保全	82	40
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	0
自然保護、団体、地域支援		
環境損傷コスト	0	85
修復コスト、和解金、引当金		85
合計	834	529

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		使用量	CO ₂ 換算(t/y)	使用量	CO ₂ 換算(t/y)		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	2,661 kℓ	7,211	2,509 kℓ	6,799	412	106.1
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	28,138 千kwh	10,636	27,996 千kwh	10,582	54	100.5
LPG	3.002 CO ₂ t/t	2 t	6	6 t	18	-12	33.3
ガス	2.108 CO ₂ t/千m ³	6,095 千m ³	12,848	5,525 千m ³	11,647	1,202	110.3
合計			30,702		29,047	1,655	105.7

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算、有効利用分除く)

内訳	排出係数(CO ₂ t/t)	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)		
廃プラスチック	2.600	238	619	246	640	-21	96.7
段ボール、木屑	1.650	202	333	137	226	107	147.4
廃油	2.900	2	6	2	6	0	100.0
汚泥	1.100	2,972	3,269	2,291	2,520	749	129.7
植物性残さ	2.442	13,292	32,459	18,705	45,678	-13,219	71.1
一般雑芥ほか	2.442	1,181	2,884	1,702	4,156	-1,272	69.4
不燃物	0.000	41	—	36	—	—	113.9
合計		17,928	39,570	23,119	53,225	-13,655	74.3

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数(CO ₂ t/t)	2006年度				
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	再生利用(t/y)	再生利用率(%)	再生利用CO ₂ 換算(t/y)
廃プラスチック	2.600	238	619	93	39.1	242
段ボール、木屑	1.650	202	333	201	99.5	332
廃油	2.900	2	6	2	100.0	6
汚泥	1.100	2,972	3,269	1,365	45.9	1,502
植物性残さ	2.442	13,292	32,459	13,185	99.2	32,198
一般雑芥ほか	2.442	1,181	2,884	1,181	100.0	2,884
不燃物	0.000	41	—	33	80.5	—
合計		17,928	39,570	16,060	89.6	37,163

その他の環境負荷量

●用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量(製造部門)

	2006年度	2005年度	増減	前年比(%)
用水	1,283 千kℓ	1,387 千kℓ	-104 千kℓ	92.5
窒素酸化物(NO _x)	19,385 kg	18,450 kg	935 kg	105.1
硫黄酸化物(SO _x)	3,180 kg	2,998 kg	182 kg	106.1

KIKKOMAN FOODS, INC. (KFI)

会社概要

本社 N1365 Six Corners Road, Walworth, Wisconsin 53184, U.S.A. (米国)

工場

● ウィスコンシンプラント(米国ウィスコンシン州)

設立 1972年

主要製造品目 キッコーマンしょうゆ、テリヤキソース、めんみ、てんぷらソースほか

● カリフォルニアプラント(米国カリフォルニア州)

設立 1998年

主要製造品目 キッコーマンしょうゆ

2006年度の評価と分析

● 環境保全投資

2006年度の環境保全投資額は111百万円で、2005年度に比べ83百万円減少しました。

この主な理由は、大気汚染防止設備など公害防止のための投資が完了したためです。

この主な理由は、排水処理設備の改善にともなって公害防止に関わる費用が増加したためです。

● 環境保全費用

2006年度の環境保全費用は174百万円で、2005年度に比べ43百万円増加しました。

● 環境保全効果

2006年度の環境保全効果額は167百万円で、2005年度に比べ13百万円減少しました。

この主な理由は、生産量の増加にともない廃棄物処理費用やエネルギー使用量が増加したためです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円 単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	101	144
公害防止	97	111
地球環境保全	4	8
資源循環		25
上流または下流コスト	0	0
流通		
管理活動コスト	10	30
環境保全	10	30
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	0
自然保護、団体、地域支援		
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	111	174

環境保全効果

● エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		使用量	CO ₂ 換算(t/y)	使用量	CO ₂ 換算(t/y)		
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	28,044 千kwh	10,601	27,294 千kwh	10,317	284	102.7
ガス	2.108 CO ₂ t/千m ³	6,692 千m ³	14,107	6,477 千m ³	13,654	453	103.3
ガソリン	2.322 CO ₂ t/ℓ	8 ℓ	19	7 ℓ	16	3	116.1
合計			24,726		23,987	739	103.1

● 廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数(CO ₂ t/t)	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)		
廃プラスチック	2.600	50	130	88	229	-99	56.8
段ボール、木屑	1.650	203	335	191	315	20	106.3
廃油	2.900	1	3	4	12	-9	—
汚泥	1.100	4,084	4,492	1,823	2,005	2,487	224.1
植物性残さ	2.442	397	969	355	867	102	111.8
一般雑芥ほか	2.442	199	486	148	361	125	134.6
不燃物	0.000	148	—	147	—	—	100.7
合計		5,082	6,416	2,756	3,789	2,627	169.3

● 廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数※(CO ₂ t/t)	2006年度				
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	再生利用(t/y)	再生利用率(%)	再生利用CO ₂ 換算(t/y)
廃プラスチック	2.600	50	130	41	82.0	107
段ボール、木屑	1.650	203	335	202	99.5	333
廃油	2.900	1	3	1	100.0	3
しょうゆ粕(飼料)	1.180	8,934	10,542	8,934	100.0	10,542
しょうゆ油(その他利用)	2.700	172	464	172	100.0	464
汚泥	1.100	4,084	4,492	0	0.0	0
植物性残さ	2.442	397	969	25	6.3	61
一般雑芥ほか	2.442	199	486	0	0.0	0
不燃物	0.000	148	—	147	99.3	—
合計		14,188	17,422	9,522	67.1	11,510

その他の環境負荷量

● 用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量

	2006年度	2005年度	増減	前年比(%)
用水	608 千ℓ	575 千ℓ	33 千ℓ	105.7
窒素酸化物(NO _x)	16,214 kg	15,739 kg	475 kg	103.0
硫黄酸化物(SO _x)	0 kg	0 kg	0 kg	—

※ しょうゆ粕、しょうゆ油の排出係数はキッコーマングループの測定値

KIKKOMAN (S) PTE. LTD. (KSP)

会社概要

本社 7 Senoko Crescent, Singapore 758263(シンガポール)
工場 同上
設立 1983年
主要製造品目 キッコーマンしょうゆ、テリヤキソース

2006年度の評価と分析

●環境保全投資

2006年度の環境保全投資額は13百万円で、2005年度に比べ5百万円減少しました。

この主な理由は、排水負荷低減対策の一環である排水処理設備への投資が完了したためです。

●環境保全費用

2006年度の環境保全費用は15百万円で、2005年度に比べ2百万円減少しました。

この主な理由は、排水処理関連機器の減価償却費用が減少したためです。

●環境保全効果

2006年度の環境保全効果額は37百万円で、2005年度に比べ5百万円減少しました。

この主な理由は、生産量の増加にともなってエネルギー使用量が増加し、エネルギー低減効果が減少したためです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円 単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	13	12
公害防止	4	7
地球環境保全	7	2
資源循環	2	3
上流または下流コスト	0	0
流通		
管理活動コスト	0	2
環境保全		2
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	1
自然保護、団体、地域支援		1
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	13	15

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		使用量	CO ₂ 換算(t/y)	使用量	CO ₂ 換算(t/y)		
軽油	2.624 CO ₂ t/kℓ	461 kℓ	1,210	409 kℓ	1,073	137	112.7
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	2,750 千kwh	1,040	2,633 千kwh	995	45	104.5
合計			2,249		2,068	181	108.8

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数(CO ₂ t/t)	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)		
段ボール、木屑	1.650	45	74	33	54	20	137.5
廃油	2.900	0	1	0	0	1	—
一般雑芥ほか	2.442	271	662	271	662	0	100.0
合計		316	737	304	716	21	102.9

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数※(CO ₂ t/t)	2006年度				
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	再生利用(t/y)	再生利用率(%)	再生利用CO ₂ 換算(t/y)
段ボール、木屑	1.650	45	74	45	100.0	74
廃油	2.900	0	1	0	—	0
しょうゆ粕(飼料)	1.180	1,056	1,246	1,056	100.0	1,246
しょうゆ油(その他利用)	2.700	6	16	6	100.0	16
一般雑芥ほか	2.442	271	662	271	100.0	662
合計		1,378	1,999	1,378	100.0	1,998

その他の環境負荷量

●用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量

	2006年度	2005年度	増減	前年比(%)
用水	66 千ℓ	62 千ℓ	4 千ℓ	106.5
窒素酸化物(NO _x)	1,527 kg	1,411 kg	116 kg	108.2
硫黄酸化物(SO _x)	231 kg	205 kg	26 kg	112.7

※ しょうゆ粕、しょうゆ油の排出係数はキッコーマングループの測定値

KIKKOMAN FOODS EUROPE B.V. (KFE)

会社概要

本社 De Vosholen 100, 9611 TG Sappemeer, The Netherlands(オランダ)
工場 同上
設立 1996年
主要製造品目 キッコーマンしょうゆ、テリヤキソースほか

2006年度の評価と分析

●環境保全投資

2006年度も、大きな環境保全投資はありませんでした。

●環境保全費用

2006年度の環境保全費用は32百万円で、2005年度に比べ2百万円増加しました。

費用の主な内容は、排水処理などの公害防止関連費用と、自然保護など地域支援のための費用でした。

●環境保全効果

2006年度の環境保全効果額は26百万円で、2005年度に比べ3百万円増加しました。

生産量の増加にともないエネルギー低減効果が減少しましたが、廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果が向上したことによって、全体としての効果は向上しました。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円 単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	0	21
公害防止		17
地球環境保全		
資源循環		4
上流または下流コスト	0	0
流通		
管理活動コスト	0	4
環境保全		4
研究開発コスト	0	0
研究・開発		
社会活動コスト	0	7
自然保護、団体、地域支援		7
環境損傷コスト	0	0
修復コスト、和解金、引当金		
合計	0	32

環境保全効果

●エネルギー低減効果(エネルギー環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		使用量	CO ₂ 換算(t/y)	使用量	CO ₂ 換算(t/y)		
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	2,293 千kwh	867	2,286 千kwh	864	3	100.3
ガス	2.108 CO ₂ t/千m ³	839 千m ³	1,769	802 千m ³	1,691	78	104.6
合計			2,636		2,555	81	103.2

●廃棄物・副産物低減効果(廃棄物・副産物環境負荷量CO₂換算)

内訳	排出係数(CO ₂ t/t)	2006年度		2005年度		増減(CO ₂ t/y)	前年比(%)
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)		
廃プラスチック	2.600	5	13	5	13	0	100.0
段ボール、木屑	1.650	28	46	23	38	8	121.1
廃油	2.900	2	6	1	3	3	200.0
一般雑芥ほか	2.442	31	76	30	73	3	104.1
不燃物	0.000	8	—	8	—	—	100.0
合計		74	141	67	127	14	111.0

●廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果(廃棄物・副産物再生利用CO₂換算)

内訳	排出係数※(CO ₂ t/t)	2006年度				
		排出量(t/y)	CO ₂ 換算(t/y)	再生利用(t/y)	再生利用率(%)	再生利用CO ₂ 換算(t/y)
廃プラスチック	2.600	5	13	5	100.0	13
段ボール、木屑	1.650	28	46	28	100.0	46
廃油	2.900	2	6	0	0.0	0
しょうゆ粕(飼料)	1.180	1,043	1,231	1,043	100.0	1,231
しょうゆ油(その他利用)	2.700	8	22	8	—	22
一般雑芥ほか	2.442	31	76	31	100.0	76
不燃物	0.000	8	—	8	100.0	—
合計		1,125	1,393	1,123	99.8	1,387

その他の環境負荷量

●用水使用量、窒素酸化物・硫黄酸化物排出量

	2006年度	2005年度	増減	前年比(%)
用水	41 千ℓ	37 千ℓ	4 千ℓ	110.8
窒素酸化物(NO _x)	1,668 kg	1,622 kg	46 kg	102.8
硫黄酸化物(SO _x)	0 kg	0 kg	0 kg	—

※ しょうゆ粕、しょうゆ油の排出係数はキッコーマングループの測定値